

事業名	歴史的建造物と景観のヘリテージ活動推進・利活用事業		
団体名	湘南藤沢文化ネットワーク	担当課名	郷土歴史課、街なみ景観課
事業期間	2019年(平成31年)4月1日～2020年(令和2年)3月31日		
事業費	2,001,499円(うち藤沢市負担金1,895,780円)		
目的	<p>&lt;事業の目的&gt; この事業では、歴史的建造物や景観が保全されるよう、実際に歴史的建造物を利活用したイベントを実施し、その魅力を多くの人に知ってもらうとともに、イベントへのボランティア等参加者を募集・育成する。</p> <p>&lt;協働の目的&gt; 団体が持つ地元ならではのきめ細かい情報力や協力体制、人・分野のネットワークに、市の広報・告知及び資料提供を活かすことによって、多様かつ規模の大きなイベントを開催するとともに、ボランティア参加者を募集・育成し、市民が主体となった保全・利活用への継続的な取組につなげる。</p>		
目標	<p>A. 市内各地の歴史的建造物や景観20か所以上を利活用する。 B. 体験会参加者、ボランティア参加者の合計80人を対象とする。 C. 見学やツアーなどに参加する市民1,500人が、歴史的建造物や利活用をとおし、保全の必要性について理解を深める。</p>		
達成度・成果・効果	<p>&lt;事業の達成度&gt; 団体 90% 担当課 90% ・歴史的建造物の認知度を高める為の利活用イベントを、年間で4事業実施し、幅広い年齢層の方たちにご参加頂き、メディアにもいくつか取り上げられ、建物所有者をはじめ関係者にも好評価で終了できた。 A. 歴史的建造物や景観の利活用:14か所 B. 体験会参加者・ボランティア参加者:合計122人 C. 見学やツアーなどに参加した市民:約1,000人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、展示・ツアー・フォーラムが中止となった。</p> <p>&lt;協働の達成度&gt; 団体 90% 担当課 90% 事業イメージを共有しプログラムの詳細を決め、相互の役割を果たすことで、団体及び市の特性を活かし、多様かつ規模の大きな事業を実施することができた。 また、団体及びボランティア参加者によって、歴史的建造物の保全・利活用への継続的な取組につながるものとなった。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">子ども建物体験会チラシ</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;">歴史的建造物におけるひな人形の展示</div>  </div>		
課題・対応策	<p>・当初は、団体と市担当2課が関わるため、事業イメージを共有するための調整に時間を要し、企画・スケジュールどおりに進めるのが難しい面があった。事業の後半においては、互いの事業イメージ共有を重視し、相互の役割を果たすことで、事業の目的に合う成果が得られた。 ・歴史的建造物に触れた小学生や、参加されたボランティアの方々によって、こうした取組が継承されると期待している。この成果が一過性のものにならないよう推し進めていきたい。</p>		